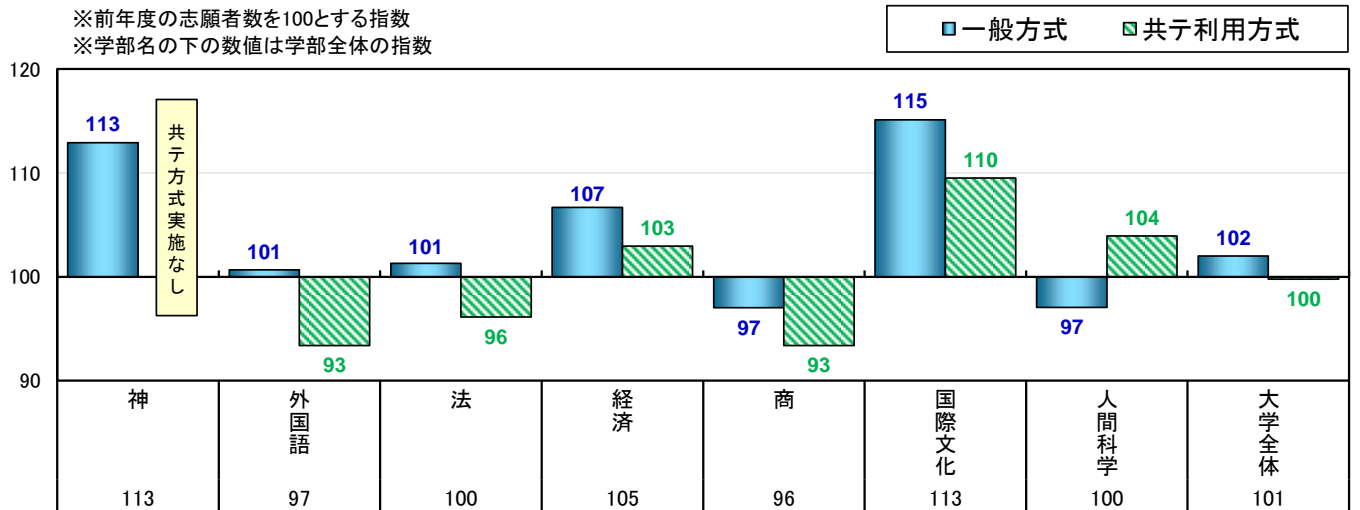


西南学院大：大学全体では微増だが3年ぶりの増加

一般：+216人 共テ：-14人



主な入試変更点

選抜方法：商、人間科学(児童教育)(社会福祉)〈一般・英語4技能利用型〉新規実施
 …利用方法：得点加算、対象試験：ケンブリッジ英検、英検、GTEC、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC LR&SW
 全学部〈一般・英語4技能利用型〉英語外部試験のスコア変更
 …対象試験：英検 各技能450点→対象試験：英検 各技能470点

入試科目：商〈共テ・前期〉…国+歴公+数+理+外→国+歴公+数+外
 国際文化、人間科学(社会福祉)〈共テ・前期〉…国+歴公+数+理+外→国+歴公+外+(数①or数②or理・理基2)
 人間科学(心理)〈共テ・前期〉…国+歴公+数+理+外→国+外+{(歴公or数①or数②or理・理基2)→2} ※選択は高得点2科目採用

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、202人(101)の微増だが3年ぶりの増加。学部別では、7学部中3学科が増加。神(113)、国際文化(113)は増加、経済(105)はやや増加。一方で、商(96)、外国語(97)はやや減少。他の2学部は前年度並。方式別では、一般方式は216人(102)の微増で、志願倍率は11.4倍→11.7倍にアップ。なお、〈一般・英語4技能利用型〉(102)と前年度並だが、出願要件を厳しくしたことで、新規導入の学部・学科を除くと(68)の大幅減少。共通テスト利用方式は14人(100)の微減だが3年連続減少。

〈一般方式〉

- 外国語(101)は、学部改組3年目だが前年度大幅減少の反動はなく6人(101)の微増で、志願者数は2年連続で900人を下回った。
- 法(101)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。志願者数は2年連続で2,100人を下回った。学科別では、(法律)(105)は前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。一方で、(国際関係法)(88)は前年度減少率35%の大幅減少に引き続き減少で、志願者数は7年ぶりに450人を下回った。志願倍率も、19.7倍→12.8倍→11.3倍にダウン。
- 経済(107)は、前年度減少率25%以上の大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。学科別では、(経済)(110)は前年度大幅減少の反動で増加。(国際経済)(100)は前年度減少率30%以上の大幅減少の反動はなく、志願者数は前年度と同数。
- 商(97)は、やや減少だが4年連続減少。志願者数は2,400人を下回った。学科別では、(経営)(91)は3年連続減少。(商)(102)は前年度並で、志願者数は4年連続1,300人台。
- 国際文化(115)は、大幅増加で2年連続増加。志願倍率は、11.6倍→13.4倍へアップし、6年ぶりに13倍を上回った。
- 人間科学(97)は、やや減少だが2年連続減少。学科別では、(心理)(81)は2年連続大幅減少。一方で、(児童教育)(109)は4年ぶりに増加。(社会福祉)(107)はやや増加、2019年度以降前年度の反動による増減が継続。

〈共通テスト利用方式〉

- 外国語(93)は、学部改組3年目だが前年度大幅減少に引き続きやや減少。志願者数は700人を下回った。方式別では、共通テスト受験後に出題可能なく共テ・後期(123)は大幅増加で、共通テスト平均点ダウンの影響を加味した合格目標ライン予想をもとにした追加出願の増加も影響。一方で、〈共テ・前期〉(91)、〈共テ・併用型〉(92)は2年連続減少。
- 法(96)は、やや減少で3年連続減少。学科別では、(法律)(93)は前年度大幅減少に引き続きやや減少で3年連続減少。(国際関係法)(106)は前年度減少率35%以上の大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。
- 経済(103)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。学科別では、(国際経済)(109)は前年度大幅減少の反動で増加だが増加率は小さく、志願者数は2年連続で500人を下回った。(経済)(100)は3人の微減だが3年連続減少。
- 商(93)は、やや減少で3年連続減少。学科別では、(経営)(85)は大幅減少で3年連続減少。(商)(101)は3年連続減少の反動はなく7人増加の前年度並。方式別では、共通テスト受験後に出願可能なく共テ・後期(171)は激増、共通テスト平均点ダウンを加味した合格目標ライン予想をもとにした追加出願の増加も影響。
- 国際文化(110)は、2年連続減少の反動で増加。方式別では、〈共テ・前期〉(121)は前年度大幅減少の反動と数学、理科の必須から選択になり、共通テストの平均点大幅ダウンの影響が緩和されたことで大幅増加。
- 人間科学(104)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。学科別では、3学科全てやや増加(104)で、いずれも2年連続減少の反動は小さくやや増加。方式別では、(心理)〈共テ・前期〉(122)は前年度大幅減少と、受験科目で歴公、数学、理科が必須から選択になり、共通テストの平均点大幅ダウンの影響が緩和されたことで大幅増加。